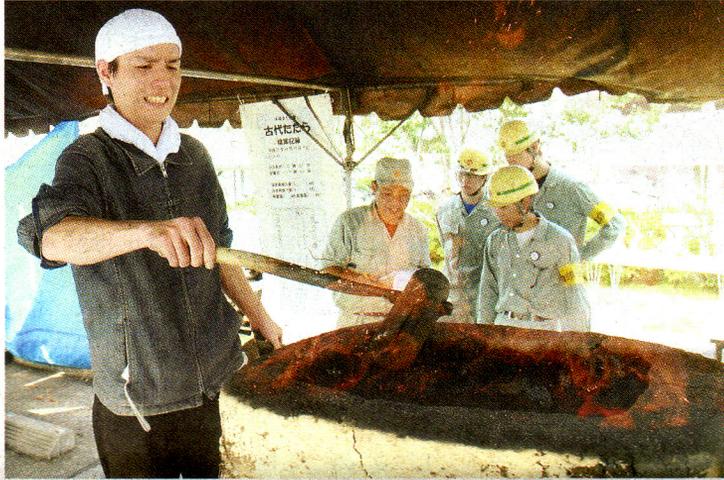


町上直江の町立西野小6年の水本彩結美さん(11)は「種を出すのが大変だった。でも、おいしかった」と笑顔を見せた。  
会場では、もろみを濾過(ろくわ)もに人気を集めていた。

炉の中に木炭や砂鉄を加える島根大の学生(安来市の和鋼博物館で)

# 熱さに耐え「たたら体験」

## 安来 島大生ら鉄塊を製造



安来市安来町の和鋼博物館で17日、島根大の学生ら「たたら製鉄」で使う粘土製の

リフティングに挑む参加者ら(益田市民体育館で)

炉を用いて刃物などの原料となる鉄塊を製造した。

炉による鉄塊製造は、博物館が2006年から毎年実施。今年も、同大総合理工学部の大庭卓也教授(金属結晶学)の講義「たたらと現代製鋼」を受講する学生や近くの日立金属の新社員ら延べ約70人が参加。木炭の準備や高さ約1メートルの炉の設置などの準備を14日から行ってきた。

最終日のこの日、午前5時前に炉に火を入れた。国

## 中四国への定住 大阪でフェア

関西圏から、北海道や中国・四国への移住を促そうと、「もうひとつのふるさと探しフェア in 大阪」(読売新聞大阪本社など後援)が17日、大阪市北区の梅田スカイビルで開かれ、第二のふるさとを探る熟年夫婦らでにぎわった。

移住促進に力を入れている北海道とNPO法人「住んでみたい北海道推進会議」が、他県に共同開催を呼びかけた。

北海道の32市町や住宅メ

選定保存技術保持者で「村下」と呼ばれる木原明さん(74)の指導で、学生らは熱さに耐えながら約10分ごとに砂鉄や木炭を投入。最後に炉を壊し下にたまった鉄塊「鋸」を取り出した。

大庭教授は「地元の伝統製法の体験で、もの作りの大切さを伝えたい」と話し、総合理工学部3年の海老原文さん(21)は「優れた伝統は後世に受け継がれることが分かった」と目を輝かせていた。

県立大短期大学部は17、18日に松江市浜乃木の松江キャンパスで予定していた学園祭「飛鳥祭」を中止した。同大によると、15日に保育学科の学生1人、16日に健康栄養学科の学生1人が新型インフルエンザに感染した疑いがあることがわかった。この2人と授業などで接触した学生は、同キャンパスの全学生の約27%にあたる132人と見込まれ、感染拡大を防ぐための措置。

## 漁船から転落、不明

17日午前7時頃、隠岐諸島の西約80キロの日本海で、操業中の韓国漁船のカニから漁船